小中学校のあり方意見交換会 意見・アンケート結果
(保護者向け・城崎会場)

- 開催日 2020年9月30日(水) 19:00~20:20
- 会場 市役所城崎庁舎 大会議室
- 出席者 保護者等参加者 32名
教育委員会事務局 8名
- 意見交換(要旨)

意見・質問	回答
《適正規模》 中学校の2030年度の数字を見て、港中と城崎中の2校合計で1学年40人近くとなるが、保護者としては、できれば2クラスにしてもらえたらと思う。昔のような詰込みの授業ではなく、対話を重要視した授業ということであれば、先生に細かな対応をしていただける、1クラス20人程度が良いと思う。	同感である。国でも40人いる1学級を少人数にしてきめ細かな学習指導ができるようにとの方向で検討が進められており、今後の国の動きを見ていきたい。なお、これは、学校規模ではなく、あくまでも学級規模の話であり、小さい学校規模が良いというものではない。
《適正規模》 今の子どもは、コミュニケーション能力が劣っていると感じる。そういうことを伸ばすためには、ある程度の人数がいた方がいいと前々から思っている。 城崎のメリットでもありデメリットでもあるが、生まれてから、こども園、小学校、中学校、ずっと同じメンバーである。仲の良い子とはいいが、うまく立ち回れない子はしんどい思いをされている方もある。ある程度の人数がいるというのはすごく大事なことだと思う。考え方としてはすごく理解できる。 《学校再編》 私にとって、港西も港東もどちらも距離感が近い。友達もいる。子どもたちのことなので、共同生活をすれば、すぐに仲良くなるだろうし、今後、高校へ行けば豊岡や日高の子と一緒にになるので、そ	地域の課題、子どもたちが学んできた環境の違い等も、ひとつずつ解消しながら進めていきたい。課題や疑問点があればどんどん意見として伺いたい。

ういう面でも、方向性はいいと思う。ただ、調整が必要なことはたくさんあると思う。	
《学校再編》 6年生は18人で少ない、隣の5年生は（大勢いて）いいなと思うのが率直な気持ち。外に出ている2人の子が、この現状を聞いて、「豊岡市に住もう」と思うのかどうかが一番気になった。どんな形であっても、「それなら帰ってきたい」と魅力のある小中学校であって欲しい。卒業した小中学校がなくなっても、いいと思える、帰ってきたときに、「人数が少なくなったから一緒になった」ではなく、「たくさんの方を学ぶためにこうなったんだ」と胸を張って言えるような学校づくりを目指して欲しい。	全く同感である。
《学校再編》 これまで、1,000人を超える小学校と50人規模の小学校、全く規模の異なる学校を体験した。私としては、どちらもメリット・デメリットがあったが、両極端の中でどちらが良いかを聞かれると、少ない方がいいと自信を持って言える。しかし、少ない方がいいというのは、1,000人に比べて少ない方がいいという結論であり、少なすぎるのはたくさんの方の問題がある。メリット以上に子どもたちにさせてあげられないことがたくさんあると感じる。 中学校については、部活を選ぶ選択肢がない、もし合わなくても変える選択肢もない、そこが合わなくて学校に行きづらくなった友達がいたり、やろうと決めた部活には同級生が自分以外に1人しかいないという現状で、悩みに悩み、子どもたちはこれまでやってきた。 2つの地域を合わせても100人程度、	人数がだんだん減るから何とかしないといけなく、どこの学校とどこの学校を一緒にしたらこれくらい的人数になるという方向に目が行きがちだが、今のお話のように、1000人規模と50人規模を比べると私としては50人規模の方が良かったという実感を言っていた。 人数合わせの理論ではなく、一緒になった時に、その学校でこんな教育ができるということを語っていきたいと思う。 審議会でも、「もっとスピード感をもって」という意見もいただいているが、地域の皆さんに丁寧に説明しながら進めていく必要があるため、ある程度の期間が必要である。地域から要望書を提出いただいたら、奈佐小や中竹野小のように、計画を飛び越えて地域の方の意思を尊重させていただくこともできると思う。

決してそう大きい訳ではない。子どもは学校を選ぶことはできない。地域の方は、学校がなくなれば寂れるとか、想い、しがらみがあると思うが、それは大人の想いであって、学校に通う子どもたちにとって良い教育環境を作ってあげたいと強く思っている。スピード感でいうと2023年度、もっと早くてもいいのではと思う。	
《学校再編》 複式学級解消のように、色々な方法を考え、少しでも今のままで行きたいというのが皆の気持ちだと思う。 その中で複式に関わらず、小学校同士、中学校同士の中で合併しないといけなくなった時に、メリット・デメリットを明示して欲しい。良いところ・悪いところが分からなければ、賛成することもできないし、反対の意見やデメリットに対しては、みんなで話し合って改善していくこともできる。今後もこのような会があるなら、そういった例を出していただきたい。	(メリット・デメリットを一部紹介) P T Aや地域などから、機会をいただければ、メリット・デメリット等も含め、具体的な説明をさせていただきたいと考えている。
《その他》 (城崎小と港小(仮称)を再編したとしても)20年後、120人を切ることになり、また学校統合の問題を繰り返すことになると思う。抜本的な解決としては人口が増えることが一番課題となってくると思う。 地域の方々には、子どもを育てやすい地域づくり、人が住みやすいまちづくりについて、それぞれ工夫をしていただいて、そこに子どもが溢れてくるという未来があればいいなと思う。	豊岡の人口減少の原因として、10代で都会に出て、男性は約半分が帰って来るが、女性は28%くらいである。女性に帰ってきて頂けるような、魅力的な街とするために、ジェンダーギャップの解消に向けて、仕事だけでなく、地域や、家庭等、街全体で意識を高めていく取組を行っている。
《その他》 部活動について、野球部でいえばチー	合同チーム、合同練習も含めて、地域

ムが組めなくなる、吹奏楽はバンドが組めない、そうになってしまうと非常にかわいそうだし、都会の学校はいいなという話になってしまう。例えば、部活だけでも合併する、合同チームを作るということは考えられないのか。

の方、保護者の方の意見もいただきながら、協議をさせていただけたらと思う。現時点で、具体的な方向性があるわけではないが、あくまでもそういったことはできるということである。

■アンケートでの意見（要約）

（適正規模・適正配置や再編の枠組みについて）

- 港小学校と城崎小学校、港中学校と城崎中学校、この2つを合わせても適正規模には至らないのが現状ですので、この2つを合併しない、メリットとデメリット、なんて言っている場合ではないです。早急に少しでも適正規模に近づけるべきです。
- 本日の説明にあったように、学級規模が20人以下になると「小規模校の強み」よりも「小規模ゆえのデメリット」の方が大きいと感じる。できるだけ幼少期から多様な意見や考え方、人間性に触れることは大変重要であると考えます。
- 現在、私の子どもも複式学級で過ごしている。子ども自身は統合について、嫌がっている部分もあるが、親としては、より多くの同級生と過ごしてほしいと思っている。
- 少ない分、先生が目が行き届き、しっかり教育ができるのではないかと思う反面、親の世代が子どもの頃のような活気がなく寂しい。競争意識の欠如が心配。
- 自分と違う考えや価値観と出会い、すり合わせを行う中で自分の視野を広げ、新たな発見のできる学びの環境は、子どもたちの育ちに不可欠だと再認識できた。
- 1クラス20人くらいが望ましい。
- 生徒数が極端に少ないと、人間関係で問題が起こった時などクラス替えができなく、学校へ行き難くなる。
- 今はとても細かく子どもを見ていただけていると思うので、本当にありがたい。反対に、少人数から多くなることに少し不安もある。
- 港東小と港西小の統合後、現港東小学校の校舎を使用すると決めたのは、こども園、中学校と関係が取りやすいためであった。それならいっそ小中一貫校にしてもよいかと思う。
- いつの日か、合併や複式学級となることは致し方ないと思いますが、そちらに向けてメリット・デメリットを明示していただきたく思います。そちらを見ての検討会ならば、さらに有意義なものとなると思います。
- 児童・生徒数の減少は、現在の推計よりも早く進行すると考える。その中で、少子高齢化が急速に進む地域で、地域の核となる学校がなくなることは、保護者・地域住民にとっても複雑であると思う。多様な立場・方面からの意見を求め、子どもを中心に据えた丁寧な議論を経て合意形成をする以外にはないと考えます。

(部活動)

- 学校全体の合併の前段として、部活動だけ合併的なことがあってもいいのかなと思う。(同様の意見あり)
- 部活動は学校が決めたものしかできないのか？子どもたちがやりたい部活の意見は取り入れられないのか？
- 部活を選ぶ選択肢が少なくなってしまう。子どもの数が減少してきたら、統合はいいと思う。
- 通学の手段が心配だが、中学校で部活を選べることも必要。

(その他)

- 文化・スポーツの面で、子どもたちが不利益とならないことが一つの基準ではないかと思います。
- 豊岡市に住みたい、帰りたいと思えるような、子育て・医療・福祉・教育の充実を図って欲しいと思います。(同様の意見あり)
- どうにもならなくなってから統合、ではなく、豊岡市がどのような子どもたちを育てていきたいのかという視点に立って、教育に力を入れていただくことにより、そこで育った子どもたちが巣立ち、そういう素晴らしい教育環境で我が子も育てたいとまた豊岡に戻ってくるような、そうでないと豊岡市の少子化は止められないと思う。
- 今後の説明会等で近隣の市町も含め、統合した学校の様子(成果や課題)を示していただければ、議論が深まりやすいと思います。統合に対する抵抗感は、子どもたちより大人の方が大きいと思いますが、様々な視点から考え、「意識改革」をしていくことが必要だと考えます。